

第24回ゴミパイプライン協議会

会議名	:ゴミパイプライン協議会
開催日時	:2019年4月20日(土) 10:00~12:00
場所	:芦屋市環境処理センター会議室
参加者	
利用者の会より	:山口委員長、友田副委員長(司会進行)、大永委員、春木委員、 三浦委員、大田委員
市より	:森田部長、藪田課長、尾川係長、林課員
傍聴者	:2名

○**利用者の会** 皆さん、おはようございます。定刻になりましたので、第24回ゴミパイプライン協議会を開催させていただきたいと思います。本日の司会進行は友田でございますので、皆さん、よろしく願いいたします。

まず、最初に資料1から6番までございますので御確認してください。ないようであれば、こちらのほうに用意していただいております。

それでは早速、本日の議題1番、パイプライン運転報告について、資料1に関しまして林さんのほうから御説明をお願いいたします。

○**市** おはようございます。資料1といたしまして、毎回のパイプライン運転報告について御報告させていただきます。資料はこちらの左上に書いている資料1というエクセルの表をごらんください。今回2枚に分けて報告させていただきます。

初めに表面のシステム異常発報、これは前回以降の2月11日から4月15日までの記録を表であわらしております。

1枚目のほうをめくっていただいて、下のほうに発生件数を書かせていただいているのですが、一番下の28年度が23件、29年度が45件、今回30年が56件とちょっとふえています。今回大きな要因といたしましては、色はつけてないのですが、1カ所、資料1の12143の投入口で開異常が連発しまして、合計56件のうち17件がこちらの投入口での異常になります。一番左のナンバーで言いますと、5番、9番、13番、15番、17番、18番、20番、23番、26番、29番、32番、34番、35番、裏面に行きまして42番、43番、48番、53番、こちらが合計17件、同じところで発生しまして、そのうち7回は現場でいろいろ維持管理の方が対応してこられたのですが、現在は解消さ

れております。原因といたしましては、制御盤内にあるコネクタの部分にプラスチックの破片が挟まっておりまして、その接触不良が原因だと現場のほうから聞いております。これに関してはかなりの回数ありましたので、私のほうから高砂のほうに電話しまして、この再発防止に努めるようには指示をいたしました。最終の4月6日以降は発生しておりません。

そのほか多かったのが、浜風町の6011ですね。ナンバーで言いますと、3番、19番、22番、裏面に行きまして39番。これに関しましては、最初の3回目で22番のところまで現場に行きまして、制御盤等の点検をいたしまして、それ以降は1回しか出ておりません。3月8日以降は発生しておりません。

そのほかにかかったのは、これも潮見町の12142。これに関しまして、ナンバーで言いますと、21番、27番、裏面に行きまして38番、41番。これ、ここでは表示はしておりませんが、この間に定期点検を1回挟みまして、3月23日以降は発生しておりません。今回、このシステム異常のほうについては、一番多かった12143の17回、これはちょっと問題かなと思っております。これに関しては、高砂のほうに連絡して再発防止を指示しましたので、今後ないように努めていきます。

続きまして、2ページ目の表面をごらんください。

利用者からの連絡対応といたしまして、上部のほうに書いてあります。こちらに私のほうに記入漏れがあったのですけれども、左から2つ目のところの月ですね。こちらが申しわけございません、抜けております。ナンバーの1から3が2月の分です。4から7が3月の分です。残り8から16が4月の分です。申しわけございません。これに関しましては、毎月の報告で言わせていただいております。ナンバーで言いますと11番、15番は2カ月の報告で大体1カ月に1回ほど誤投入が発生している計算になります。そのほかにかかったのが、ナンバー1番、ナンバー4番、ナンバー7番、あと14番ですね。鍵の件で、鍵穴が斜めとか開の状態では放置されておりまして、その次に捨てられる方が「捨てることができないよ」という形で環境施設課のほうに電話をいただいている分です。

先ほどのシステム異常発報と利用者の連絡対応について、前回御指摘いただきましたとおり右から2つ目の枠ですね。住民起因の可能性のある場合は星印で表現をさせていただいております。利用者からの連絡対応についての発生件数に関しましては、28年度が8件、29年度が10件、30年度が16件、これは若干ふえている計算になります。

続きまして、一番下のところの巡回及び定期点検で発見された不具合等に関しまして、今回ほとんどが投入口下のピットにあります露出しているところの輸送管の補修ですね。その補修が4件ほどありましたので、前で簡単に写真を使い説明します。一番上は2月25日のところですね。これはわかったのが21日でこういった穴あき、輸送管のフランジ部分にちょっと小さな穴、こういったところは25日に水中ボンドで補修をしております。その次、3月1日の分に関しましては、小さいこういった穴あきですね。こうやって見つけた穴に関しましては、この部分、穴あきは水中ボンドで、露出しているところは維持管理のほうで補修をしております。その次ですね。次のほうもこれは貯留槽、ここの一番下の部分が小さく穴あいて、中にビニール袋が見えているのですが、これも水中ボンドで補修をしております。これも輸送管の壁、基板の部分。ちょっと見えにくいのですが穴あきがありまして、それについては周りを水中ボンドで補修をしております。投入口の下とかピット内の見えるところ、穴あきに関しましては、水中ボンドで補修等を行っております。

続きまして、今現在のパイプラインが一部地域でとまっているのですけれども、その報告をさせていただきます。こちら表紙はないのですが、地図を描いているこちらの資料をごらんください。

パイプライン運転報告といたしまして、前回の協議会から4回ぐらいパイプラインがとまっております。初めの箇所は、前回の協議会でも軽くお話しさせていただいた部分があるのですけれども、浜風町のところで、停止投入口に関しましては3051、3052、3053、3054、3061、こちら5つの投入口が使用停止になりました。経過といたしましては、2月12日火曜日に閉塞を確認いたしまして、その日、カメラ調査を実施しました。14日に通気点検等である程度の閉塞箇所を特定できましたので、2月16日土曜日に輸送管の洗浄作業を行い、翌、週明けの18日に通気運転等で仮復旧をし、そのまま復旧をしております。

その下の次のページですけれども、考えられる原因としては、閉塞箇所の先頭部分にこの右手にあります段ボールですね。これが大量にあったことが原因だと考えられます。啓発活動といたしましては、尾川係長と私のほうで、段ボールは住所名前等わかりましたので、その方に直接会って、こういった形でとまりましたという啓発活動は行いました。また、この啓発チラシの写真に関しましては、投入された可能性があるところは全ての投入口に掲示をしました。また、利用者の会へのメールも行いまし

た。また、段ボール以外にも車のサンシェード、日差しよけで使う物ですけど、これも約100センチのやつが閉塞箇所から発見されました。

次のページになるのですけれども、これも全く同じ箇所で、停止投入口は3051、3052、3053、3054、3061、これに関しましては、2月27日水曜日に、この日に運転していたらごみの搬送が不可能だということを発見、確認しました。翌28日木曜日に輸送管の洗浄作業を行いまして、1日に仮復旧から本復旧のほうに行きました。この箇所に関しましては、ちょっと具体的なこれという原因はわからなかったのですけれども、右手のほうにガスボンベが見つかっただけで4本ですね。全部で何本入っていたかわからないのですけども、こういったガスボンベも輸送管内から発見されました。また、啓発活動といたしまして、このチラシを投入された可能性がある投入口には掲示しまして、利用者の会へのメールも行いました。そのほか延長コードですね。こういったものも入っておりました。

続きまして、これは新浜町のラ・ヴェール内の輸送管になるのですけれども、これは停止投入口3139、3149、3159が停止しました。発生日といたしましては、3月13日木曜日。復旧作業は3月18日、4月4日、5日、12日に作業を行いました。現在もとまっているのですけども、一応ごみのほうは全て取れました。高圧洗浄で使った水がまだ残っておりまして、通気運転等で乾燥させているのですけども、最後カメラ調査を行いまして、問題なければ復旧という流れにしたいと思っています。今の予定では週明けに、人と洗浄車を呼んで復旧作業を行う予定にしております。

これについては、考えられる原因といたしましては、ごみの先頭の部分に大量の教科書が堆積していました。右手のほうの啓発チラシを作成しまして、各投入口には張っております。3月に恐らく結構こういったものが多かったのだと思います。啓発活動といたしましては、これは投入口前にもこのごみを置いて、捨てられた方が見られたらいいと思いましたので置いております。また、チラシのほうも投入口に掲示しております。また、チラシのほうも投入口に掲示しております。そのほかにも中身入りのペットボトルや油関係、サラダ油とかが残った状態で投入されたごみもありました。

こちらも浜風町、さっきのところとは少し場所は南におりたところなのですけれども、停止投入口といたしましては3041、3051、3052、3053、3054、3061、こちらの6個の投入口が今、使用停止になっております。経緯といたしましては、4月12日金曜日に閉塞を発見いたしまして、15日に洗浄作業を行いましたが、まだ復旧まで至って

おりません。こちらに関しましては、先ほどの新浜町の分も含めまして、週明けから作業を行いたいと思います。

皆さんにお配りしている写真が間違っておりまして、こちらの上の写真のほうがごみの先頭部分、これは閉塞箇所、先頭の部分の写真になります。こういったごみが先頭で閉塞を招いているのだと思います。こういったところにもし先ほどの教科書とか段ボールがあれば、私たちもあれが原因やとわかるのですけれども、これだけ見ると何が最初に詰まったか不明な状態です。

長くはなつたのですが、運転報告はパイプライン停止も含めまして、報告は以上とさせていただきます。

○利用者の会 林さん、どうもありがとうございました。今の御説明で御質問の方、お願いします。はい、山口さん。

○利用者の会 おはようございます。利用者の会の山口です。

パイプライン運転報告、非常に多くて御苦労さまでした。私、利用者の会で説明しなきゃいけないので、ちょっとまだよう理解できてない部分がありまして、この十何回の12143ですかね。これちょっとようわからないのですが、「どんなことが起きて、どうされたのか」ということを、ちょっと経緯でもね。同じことを14回もするとは、ちょっと私もまだ整理できてない、済みません。

○市 芦屋市の林です。

こちらの投入口に関しましては、異常の内容といたしましては、排出弁の開異常になります。簡単に言いますと、ごみがためられているところのその下に弁がありまして、それを横にスライドしてごみが落ちてくる、これが流れですけれども、この弁がかんで、ちゃんとリミットスイッチまで開かなかった、これが開異常になります。

○利用者の会 これ、スクリュージャじゃない。

○市 スクリューではございません。例えば、簡単な筒のところに横にスライドする弁がありまして、それを横にスライドして、ごみが重力で下に落ちる。この弁が、開というリミットのところまでちゃんと行かなかったと、これが開異常になります。

最初、現場のほうでもリミットスイッチのほうでちゃんと正しい位置になかったのかという部分で疑っていたのですが、なかなかそれを改善して、そのときはよかったですけれども、翌日とかの朝の定時運転とかでちゃんとリミットスイッチが切れなかったというか、開異常が出たという部分が原因です。最初現場に行きまして、何

度もリミットスイッチとか、その他の制御盤内の清掃とか増し締めとかやっていたのですが、それができなくて、ナンバーで言いますと、23番で1回運転をしたときに現場に立ち会ってやったのですが、そのときは異常が再発しなかった部分になります。

その後もいろいろ基板とか見ていまして、最後、コネクタの差し込み口にプラスチックのごみがあって、それで接触不良、必ず出るわけじゃなくて、出たり出なかったりという部分でわかりまして、それを除去しましたら、4月6日以降出なくなりました。こうったところで清掃とか、そういったところで何か工具ができないかというのは支店のほうからは言われまして、現場と調整して何かつくりたいなと思っていますという御返事はいただきました。

以上です。

○利用者の会 ありがとうございます。

2つありまして、1つは、例えば2回とか3回続いたら、これはやはり根本的に何かあるのだということで、何をするかちょっと私もわかりませんが、ルールをつくつとかならないといけないと思うのですね。そうしないとこれ、十何回もなってしまう。だから同じ場所で同じような現象が、例えば2回連続して発生して、ちょっとしたことで直らないようなものがあつたら、そこはルールとしてどうしていくということを1つ決めなきゃならんかなと1つは思います。

それからもう一つは、いつもワーキンググループで話題になる、文書できちんとマニュアルなりそれを、その時点で作っておくと。発生した時点で作るのが一番いいのですよね。それを財産として、またほかのことがあつたらどんどんつけ加える。これは普遍の話なので、ほかの投入口でも起こる話なので、必ずやはりこの時点でマニュアルをつくって、最終的にはプラスチックのそういうものが入っていて、それを除去したら直つたと、そういう記録と同時にマニュアルもぜひともつくっていただきたいと思っております。

○利用者の会 それ以外に御質問ございませんか。はい、大田さん、どうぞ。

○利用者の会 利用者の会、大田です。

今、山口さんがおっしゃられましたけども、潮見のこの12143で17回もずっと発生しているということは、ちょっと現場のほうに行かれる方が、同じ場所でね、これだけ発生しているということは何か疑問に思われないのかなと。何でこんなに発生するの

かと。根本的なことを解決するということを考えれば、ここまでならないのではないかと思う。今、山口さんが言われるように、やっぱり同じ箇所で2回も3回も起こったら、原因が何であるかということを引きちと把握するようにしていけないといけないということと、今後ですけれども、このような部分は指導のほうをね、せっかく委託しとるわけだから、そんなところを引きちと指導していただかないと。以前利用者の会でアンケートをしたら、利用している上で困ることって何でしょうかということ意見を問い合わせたところが、故障とか赤ランプが多過ぎるという意見が非常に出ていました。この辺のところをせっかくね、いいものがありながら利用ができない状況が続くというのが、やっぱりちょっと問題があるかということなので、その辺のところをよろしくお願ひしたいと思います。

それとパイプラインの利用状況で、大量の段ボール、これは尾川さんと林さんが現場のほうに行かれて、捨てた方がわかったということで家庭訪問をされたということですけれども、これは利用者の方の反応はどうだったのですか。以前は開き直られたというようなこともありましたけどね。今回に関して、普通だったらこんな段ボールね、捨てるということが考えられないのですけどね。行かれたときに、その方はどういう反応をされていたのかということをお聞きしたいなというように思いますけれども。

○市 環境施設課の尾川です。

私と林のほうで段ボールに宛先と名前が書いてありましたので行かせていただきました。こういう啓発でよくあるのですが、なかなか会えない。我々はいろんな時間、午前中であったり昼からであったり夜7時ぐらいであったりとか、いろいろ試しているのですけれども、なかなか会えないことが多いです。ここのお宅に関しても、7回ほど訪問させていただいています。お子さんがおられて、学生だったのですけれども。

今回の方に関しましては、名前も書いてあったので、本人やというのを認めていただいて、こういうのは集団回収に出して、逆にその地域のお金にしてくださいよという話をさせてもらって、段ボールとか発泡スチロールというのは中で広がって詰まる原因になることが多いので、基本的には集団回収に出してやってくださいということを説明しました。了承していただいて、今後は気をつけますとおっしゃっていました。

○利用者の会 それまでこういうものを捨ててはいけないこと自身、御存じでなかったということになるのですか。

○市 そこまで確認はしてないのですけれども、受けた印象としましては、知っているけど

もというようなことをちょっと感じました。

○利用者の会 ありがとうございます。春木さん、どうぞ。

○利用者の会 どうも御苦労さまです。春木です。

今、これ、現状というのか、これ、報告してもらったのですが、何かもう、いろいろ聞いていたら頭がパンクして、何かから言うたらいいかわかんような状況になってしまう。この辺については、やっぱりこの協議会でこれを言って、初めて言い、ここで議論することは、十分な時間がない気もするのですよ。そやからこの辺はまたワーキングでもね、技術的なことについては専門の方もおられますのでお願いしたいなと思っています。

この排出弁にしても、具体的なところはまだなかなか理解に苦しむのですが、若葉町の通信異常から、あの辺から見ても、何かちょっと電気計装関係の技術がちょっと弱いと違うのかなという感じもせんでもないのですね。この排出弁の開異常、これ、こんだけ起こって発生しているのに、作業内容を見たら余り突っ込んだ、これ、できないというようなふうに感じるのですが。

それとプラから何やら破片が出たというのは、これはいつわかったのですか。これで見たら42番、基板の接続確認後、復旧。ここでプラ除去したのですか。その後、また1回起こっていますね。その後、また1回ね。

○利用者の会 2回起こっています。

○利用者の会 その後、2回か。

○利用者の会 3回。

○利用者の会 3回か。そやから、そこでプラが原因と言っているけど、その後3回も発生しとる。3回か。1、2、3、ああ、3回やね。これは42番がプラだとはっきりわかって、これが原因やったと言われているけど、その後、43、48、53、3回発生していますね。この後、どうやったのかというのをちょっと非常に私は疑問ですけど。

ほんで、それとこのプラがかみ込んでいたと言うけど、このプラごみがどこから来たプラごみなのですかね。盤内にそんなプラごみが落ちて挟まるような、そんなプラというのがね。それもちょっと疑問やし。そやから、その辺もやっぱり突っ込んで対応していかんかんし、日常点検、数多くあるものについては、日常点検というのは何か月に1回とか、その場所についてはね。最悪1年に1回ということもあるかもわかりませんが、ぜひこの辺を突っ込んでやっというていただきたいと思います。でない

と、またこの排出弁や吸気弁関係、非常に毎月多いですからね、発生する頻度が。やっぱりこの辺も今後ね、20年、芦屋浜15年、20年ですけど、今後ずっと続いていくとなると、今、1つ話題になっている今後の高砂丸誠エンジニアリング。

○市 はい。

○利用者の会 丸誠エンジニアリング、この辺との関係もありますからね。この辺はきちり対応して行って、できる限り作業員の負担にならないように。それとそうすることによって、今後、作業を引き継ぐ場合にも非常にいい情報になりますので、やはりこの辺はきちりやっといていただきたいと思います。ただ、環境施設課と丸誠エンジニアリングとのこれまでの関係性もいろいろあるとは思いますが、非常に大事なことなので、ぜひやっていただきたいと思います。ここでは余り突っ込んだことは言えませんが、排出弁とかその辺をしっかりと今、作業を整理しているということですので、その辺はまたどういう整理をして、どういう報告があったかというのはまたワーキングでぜひ報告をお願いしたいと思っています。電気計装なんかでは木寺さんがね、電気よく御存じだと思いますので、ぜひよろしくをお願いします。

いろいろとわからないのですが、それとね、利用者からの連絡対応というのがあるのやけど、この中で作業内容について鍵開かないね、これで鍵穴が斜めで放置、合い鍵で復旧というのが、鍵穴が斜めでという表現が最近出てきた表現の仕方やと思うが、これは結局コインマスターが不良か、鍵が不良かどっちかわからんけど、要するに最後まで、もとに戻してから抜くんやなしに、鍵を開で90度やって、そこまで戻す前に鍵が抜けてしまっていると。だから、次に来た人が鍵が入らないというこれまでの状況やったのですね。だから、この鍵穴が斜めで放置、合い鍵で復旧というの。それと14番、鍵穴開で放置、合い鍵で復旧となっているけど、これも結局は同じことやね。そやからその辺で、何か最近、何や鍵穴斜めでというのが最近多く出てきて、何か違う表現になっていて、その辺がちょっとわからないのですが。

それからこの辺もね、やっぱり長いこと続いていて、ほんでコインマスター、投入口によっては、もう取りかえている部分もあると思う。そしたらやっぱりそれらの年数も含めて、多く起きたらコインマスター変えると。それ以外にひよっとしたら投入口によってはもう何回も変えているというようなところがあったら、何でそこだけそんなに頻繁に変えないといかんとかね、やっぱり今後に備えてこの辺も考えていかんと、毎回毎回同じことが出てきて、また結局は呼び出されて、現場行って、合い鍵持

って行って元に戻して復旧。またしばらくしたら、また同じこと。結局は同じことを繰り返していくばかりになる可能性も大いにあるからね、それ。その辺も含めて、またこの辺は議論をぜひお願いしたいと思います。

それと、この巡回で発見した不具合やけど、ピット内の輸送管を水中ボンドで仮補修というのが今回4件ほど出てきたんやけど、これらについても、そしたら、ああ、そうか、これはもう定期点検ということでやって発見したということやから、点検する項目に入っているということやね。そしたらまた今後ね、その辺もしっかり点検して、余り大きく破れてしまうまで置いとくことがないようにしっかりお願いします。

それと、このトラブルについては最近浜風と新浜が何か非常に多いような気がするのやけどね。特に何か変わってきたことがあるのかなというので、設備含めてやけど。最初のところも、教科書というか、ああ、違う、大量の段ボールか、結局は復旧するまで1週間。あと非常にあれなんは、1カ月以上かかっている部分もある。大量の教科書、これはもう、1カ月かかっているのかな。3月13日から、いまだこれ、復旧してないのやね。1カ月以上かかっているわけですわ。その辺ね、これは今、山口委員長がアンケートを集計されているものと、これらについては利用者の会で議論していることがあるので、この辺は今後、アンケートのまとめの結果も含めて、さらなる対応をしていくと思います。

ちょっと取りとめのない話になったかもわかりませんが、ぜひこの辺、今後ともワーキングの会を含めて、よろしくお願ひしたいなと思います。また現場作業員との人間関係もぜひ良好にしてもらった上で、これらを進めていきたいなと思いますので、よろしくお願ひします。

○利用者の会 はい、大田さん、どうぞ。

○利用者の会 大量の教科書ということで、これ、写真載っていますけれども、これはひもで何冊か結束された形でどんっと下のほうに落とし込まれていったのか、一冊一冊ばらばらに投入されたのかということも関係してくると思うのですがね。昔、敷設されたときには何でも捨ててもいいよと。何でも捨ててもいいよというような形でパイプラインを利用されてきたわけだけでも、最近こういう教科書とか、こういうものまで、言うたら悪いですけどね、吸引されなくなったと。運ばれなくなったということは、敷設されたときと比べて今現在のパイプラインの状況ね、能力的に言うたら、大体何%ぐらいになつたのでしょうかね。かなり落ちているかな。50%以下とか。

どんどんこれ、老朽化していったら、ますます詰まっていく可能性がふえていくのではないかとこのように心配しとるわけですけどね。

○市 環境施設課尾川です。

設置当初というのは分別が今ほどなくて、基本的には何を捨ててもいいという状況、缶とかも捨てていたような形です。ただ、それによって大分痛んだのは事実かもしれません。それから分別が世の中として進んできました、基本的にはこういうものを入れないようにしようと。うちは環境施設課なので、ごみとして燃やすことは最終手段であると。基本的には燃やしたくないと。再生できるものは再生したい。だから、基本的には教科書とか紙類に関しましては再生資源という形で、我々も再生資源に対してお金を交付していますし、自治会にしましても、業者さんに売ることによって自治会の収入になると。ウイン・ウインの関係になるし、また紙も世の中に戻っていけるような形になりますので、それを進めています。

能力に関しましては、基本的には同じような圧力で引いていますが、落ちているかどうかは。老朽化することによって、その抵抗が多くなるので、ブロワがもうちょっと回らなあかんとか、ブロワの回転数がふえるとか、そういうことはもちろんあるかもしれませんが、基本的に圧力が下がっているとかいうわけではないです。ただ細かい話をしますと、管も痛んできて、昔みたいにツルツルの管であれば抵抗も少ないような状況が、長年の経年劣化で表面がケバケバというのですかね。そういうのも出ていまして、ひっかかりやすくなっているとか、重い物をなかなか吸えなくなっているとかということはあるかもしれませんが、圧力としましてはそんなに変わってはないと思います。

○利用者の会 ちょっと悪いけどね、さっきの質問で、プラとかその辺の状況が出たのでちょっと。

○市 プラ。

○利用者の会 プラがかみ込んでいたという。

○市 違う話。

○利用者の会 うん、最初、私言うとした質問、言うていた中でもしわかっていたら。排出弁の開異常。

○市 それにつきましては、ちょっと1回高砂に経緯も含めて。

○利用者の会 まだわからないの。このプラというのは、もうほかした。

○市 またそれも含めて出してもらおうかなとは思っていますけど。まとめて、はい。

○利用者の会 はい、野村さん。

○傍聴者 潮見町の野村です。

さっきの17から潮見町のところの修理の件ですが、これも17回ということになると、エンジニアも恥ずかしいと普通は思うのですね。まず大体、これ、私も考えてみたら、リミットスイッチの開閉の異常だからリミットスイッチがちゃんと働いていない。初めにそれ、調整したら直った。2回目、3回目、直らない。3回ぐらいですね。3回以上になってきたら、何か起きたり起きなかったりすると。直したはずなんやけど、そのときは動いていて、また2、3日、明るる日かあさってになったら動かない。そうなってくると普通考えるのは、これは電送のどっか接触不良やと考えるのが通常なのですね。機械的なメカの問題だったら、直したら直るのです。電気に関して言うと、電気は動かなかつたら動かんし、動いたら直ったで、何でそうなったというのはわからんのですけど、接触不良というやつが一番困るのですね。これ、やってたいらもう、何かたまらんことになってきて、5回ぐらいしたら、5回ぐらいのところみんな、これ17回というのは異常で、5回ぐらいになったら、これ、接触不良やけど、「えいやって」なって、普通はそのラインに関して、全部接触に関して関連するところを全部抜いたり指したりして調べていくと。これ、30年も使っているとね、いろんなソケットというか、接触のソケットの部分があるのです。電気の線と線をつないでいるコンセントみたいなものですね。それが基板をつけているところと基板とその電源との間とか、そういうところもいっぱい出てくるのですけれども、その辺のところの接触の部分がさびてきよるんですね。さびてしまうと接触不良を起こすのです。それがまたどこで起きるかというのは、非常にわかりにくいから、今、おっしゃっていたソケットのところはプラがはまっていたと。これははまっていたのか、それとも接触不良、単純に酸化して接触不良したん違うかと思えますけども。

それにしても17回というのは異常で、市としては5回も起きたら、その時点で高砂さんとお話になって、そこで無理やったら、その電送の専門家を持ってきて、そこで一遍ちゃんと調べてみよというような形をしたほうが、結局17回といたら、何ぼ多少その電送の非常によく詳しい人と、まあまあ、ちょっとさわるオペレーターの人が出て、オペレーターの人が17回かかったと。電送の人が出てきて、1、2回行ったらわかると思います。それであれば、そのところは指導していくのは市の立場じ

やないかなど。それによって減らすと。

それから、その後、山口さんがおっしゃっていましたが、これ、非常に難しい、電気の中で言うとマニュアル化しにくいところですけども、やはりマニュアル化して、こうなった場合については接触不良の可能性があるので、どういう調べ方をするのやと。それを今度はトラブルが起きたときの、トラブルに関してのマニュアルをつくったトラブルショットの数をちゃんとつくれば、そのどれにはまるのやと考えるような考え方をしないと、何かこれを見ていると、真っ暗なトンネルの中でコイン1枚を落として、それを探しとる。電気つけたらすぐわかるやないかというようなことをやっておられるような気がしてしょうがないというふうに思います。

○利用者の会 ありがとうございます。春木さん、お願いします。

○利用者の会 春木です。

今、野村さんも言われたように、私これ、今のことを聞いてね、やっぱり若葉町のあそこの通信不良ね。あれを通信関係の異常やと考えると、あの4カ所の部分が回路でつながるとということをおもわなかったという、あれは大きな反省なのですね。

その延長線上で、今回もやっぱり同じようなふうなんですね。やっぱりリミットスイッチやとか、その辺のほうが悪いのではと考えると、その辺の電気関係を調べてないというね。それと同じような関係なん。だから、電気計装がちょっと弱いんかなということでも発言したのですけれども。そやから、その辺を高砂丸誠エンジニアリングにも十分知っただいて、でないとも3カ月間も、いちばん最後まで若葉がかかったという、あの経験が生かされないことになりますので、その辺をかなり危惧していますので、十分よろしく願いいたします。

○利用者の会 ちょっとよろしいですか。

○利用者の会 はい、三浦さん、どうぞ。

○利用者の会 ラ・ヴェールⅢの三浦でございます。大変御迷惑をおかけして申しわけない。もう毎回のことで、2カ月に1回は大きなことやったという。

ちょっとね、当初この関係で、若干何か話が複雑になり過ぎてよくわからなかったもので、前回のときに今、この本が出てきましたけども、この本が3149から投入されたということに話がずっと勝手に進んでしまったような感じで、そのときになぜそうなったかというのは、ラ・ヴェールⅢの清掃の方がそれを確認して注意したと。それはラ・ヴェールⅡの人やったという話がずっと広まったのですね。私はラ・ヴェールⅢ

の清掃の方とこの間ちょっとお話ししたのですけども、その方が確認したのは、3159からということは東側の部分ですね、そこから投入したのを見た。その内容については漫画の本やったという話なのです。投入したのは、ラ・ヴェールⅡの人やったと。今回発見されたのは、詰まっていたのは介護の本でしたわね。それと油か何か入っていたというの、ボトルの。それはこの図で見ると、こここのところで発見されたのですかね。その出てきたものを3149のところに置いていただいたのですけども、そうすると49か39かわからないのですね、これ。ほんで、多分49やろうと思いつつと置いてあったのですけど、おとといでしたかね。確認しに行ったら、もう、それがありませんよね。金曜日の日に私のところの回収のやつがありますので、環境さんにお話しして、それに出してもいいかなと思って見に行ったら、もう何もないのですよね。別に片づけられたわけではないのですよね。

○市 片づけました。

○利用者の会 誰かがどこかにまた放り込んだか。

○市 市のほうで片づけました。

○利用者の会 片づけられたのですか。

○市 はい。

○利用者の会 ああ、それやったらいいですけど。

○市 2週間掲示させてもらって、ほんでその後はもう、衛生的な問題もありますので、持って帰って処理しました。

○利用者の会 ああ、そうなのですか。それはどうも済みません。

それと掲示してあった分ですね。あれが何か1週間ほど前にはがされて、飛ばされて、植え込みの中に入っていたというようなこともありましてね。何かちょっと住民の中で、私も住民の人と話したら、ラ・ヴェールⅡの人と話すとⅢが悪いとかね。Ⅲの人に話聞くとⅡが悪いとかね、そういう話になってしもうて、中ではわさわさしている。これからちょっとそういうことがふえてくると大変やという感じはしとるのです。1つの同じ敷地内というか一角なので、各管理組合3つあるのですけども、今、その交流がないのですよね。その辺も含めて今後考えようかなと、そういうふうに思っています。えらい申しわけない。

○市 芦屋市の林です。先ほど3159の件とは別の件かなと。

○利用者の会 はい、うんうん。

○市 と思います。私たちも管理人さんとか、各ラ・ヴェールⅠ、Ⅱ、Ⅲの方ともよくお話ししているのですが、たまに清掃員の方のお話も伺っております。

今回に関しましては、恐らくこの教科書ですね、3139、3149で投入された可能性があって、掲示は両方ともさせておりますので、そういう形でできればこの掲示もわかるように、どんな教科書かわかるように写真は撮らせてもらったので、これを見た方、本人は多分わかるのではないかなと思っております。

○利用者の会 多分、御本人はもうわかっているかなと思うのです。

○市 そうですね。

○利用者の会 本の内容がちょっと特殊なので。

○市 そうですね。一般的な本ではないかなと思っておりますので、はい。

○利用者の会 済みません、申しわけない。

○利用者の会 はい、山口さん。

○利用者の会 このパートはこれで私の質問で終わりにしたいのですが、この場で話すことではないと思います。恐らくワーキンググループで詰めなきゃいけないと思うのですが、非常に心配しているのは油が今回あって、中に入っていた人が非常に危険な状態になったかもしれないのですね。ボンベも入っていましたし。そうすると、今後、中に入って作業をするということは、本当に真剣にそれが必要かということを考える必要があると私は思います。もう、起こってからではしようがないのですよね。労働基準法から言うと、僕はこの作業はしてはいけない作業だと思っています。大阪でそういう話も、大阪は（輸送管の中で）人が空気で運ばれたのですよね。たまたま骨折で助かったのですが、センターの手前でとまって助かったと。そのときも大阪はもう、それ以降、そういうことはやりたくないとおっしゃっていました。

ですから、芦屋もワーキンググループでその手順も含めて、じゃあ、今後どうしたらいいのかと。この間のワーキンググループでは、機械を入れて何かごみを取るようなものがあれば一番いいかなと話があったのですが、そもそもカメラで見て詰まったというのがわかったら、高圧の水で流すとか、人が入るのはできるだけやめるというような方針なりプロシージャが要るかなと私は思っておりますので、1つの提案ですが、ワーキンググループで今後詰めさせていただきたいなと思っております。

○利用者の会 ありがとうございます。

続きまして、本日の議題の第2番ですね。今後の長期活動計画（ホップ・ステップ・

ジャンプ) について、藪田課長のほうから御説明をお願いいたします。

○市 芦屋市の藪田です。

それでは私のほうから議題の2ということで、今後の長期活動計画についてということでお話をさせていただきたいと思います。

前回の協議会、2月16日の協議会するとき、この長期活動ですね。きょうは資料を用意してないですけど、前回お配りさせてもらったこのホップ・ステップ・ジャンプ、この内容を説明させてもらいました。それで、その後、利用者の会のほうと市のほうも持って帰って、これでいいのかどうかという検討をさせていただいているところだとは思いますが。我々市のほうの担当部署としましては、この内容を基本というかベースとして、今後運用を進めていこうとは思っておりますので、利用者の会のほうはいかがですかね。この内容で決めて、これをベースに進めていく形でよろしいですかね。

○利用者の会 はい。2月の利用者の会で話しました。

○市 はい、わかりました。ありがとうございます。

それでは、前回説明させてもらいました長期活動、この内容でこの協議会として承認して、これに基づいて細かい話を詰めていながら進めていきたいと思います。

これ、前回説明させてもらったときに気づいた内容なのですが、ちょっと誤字脱字というか、番号の振り方とかおかしいところがありましたので、その分を修正させてもらって決定とさせていただきたいと思います。

私のほうからは以上です。

○利用者の会 ありがとうございます。春木さん、どうぞ。

○利用者の会 こういうことで、よろしくお願ひしたいと思います。

今後、芦屋浜は20年間ということですので、現状を考えたら非常にやりがいというか、難しいというか、いろいろ出てくるのかと思います。そういうことで、最初の10年間は年平均2億6,500万やったかな。年平均2億6,500万か、だったと思いますが、これはあくまでも最初の10年間にはお金がかかるだろうということで、平均として出てくるのだと思っています。したがって、年で2億6,500万使ってもいいという意味ではなしに、やはりできる限り後々に残していくと、何があるかわかりませんのでね。その辺はちょっと念のためということで、よろしくお願ひします。

○利用者の会 ありがとうございます。大田さん、どうぞ。

○利用者の会 芦屋浜に関しては今後20年という形になっていきますけれども、当初の話で、

15年後には新しいシステムに変えていくよという話になっていますよね。そういうところで、15年後に新しいシステムにしていくためには、ステップ1のどの辺かで代替案を具体化していく必要があるのかどうかというところをちょっと確認しときたいなと思いますけども、藪田課長、いかがでしょうか。

○市 藪田です。

このホップ・ステップ・ジャンプの中にも書かれている長期活動ですね。きょうは資料を用意してないですけど、前回お配りさせてもらったこのホップ・ステップ・ジャンプですけど、これに基づいて進めていこうというところで、まずこの第1ステップの10年間。ここでは代替案の検討という言葉が入っておりまして、まずは代替案のデータ収集というところからスタートさせていかないと、次の第2ステップの具体化のほうには進めていけないと思っておりますので、この10年間の間でいろいろなデータ、例えば、各投入口のごみ量でありますとか、設置されている位置とか、道路に面しているとか、道路に面していないとか、いろんな細かいことがあると思っておりますので、そういうデータ収集でありますとか、そのほかの方法もありましたら、それなども収集しながら、まずは検討する材料をもうちょっとしっかりとそろえていくところからスタートしていきたいと。この10年間はそんな形で進めていけたらなと思っております。

○利用者の会 山口さん、どうぞ。

○利用者の会 利用者の会、山口です。

ホップ・ステップ・ジャンプのホップのほうにその辺は書いてあるんですけど、きちっとした資料をそろえられるようにしないと。例えば、私が心配しているのは権利関係、これが市の土地がどこにあって、例えば高層だったら高層の土地はどこにあって、権利関係がどうなっているかも調べなきゃいけないし、中に入っているガス管とか水道とかいうのも全部関係するのです。その辺の資料をきちっと集めないと、単に上辺だけで代替案がどうのこうのって非常にすべった議論になるので、私はきちっと基礎から積み上げて、その上に状況判断をしながらやっていくのが一番基本的なやり方かなと思っておりますので、僕はそこをきちっと時間をかけてやっていくことが非常に大切なことだと考えております。

○利用者の会 大田さん。

○利用者の会 これはもう藪田課長がおっしゃられたデータ収集で、山口さんがおっしゃられている中身の検討というかな、いうところで、この10年間の中でも順番に潰して

いかないといけないところが多々あると思うのですよね。それをどういう部分が問題になってくるかということをおね、きちっと列記した上で、一つ一つ潰していくよという方法をとっていかないと、10年間というのは、あつという間に10年間たっちゃうよと。だから、何のデータもそろわないうちに次の代替案といっても、住宅形態によつたものをつくっていきたいということで我々望んでおるわけですがけれども、きちっとしたものができないと違うかということで、よっぽどこの10年間で本腰を入れて、順番に追っていかないといけないと思いますけれども、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○利用者の会 今、これ、このパイプラインは芦屋浜、南芦屋浜も含めて、一応32年後までということですね。ほんでそういうことで、この超長期活動計画、一応ホップ・ステップ・ジャンプということで、10年間、10年間、12年間ということで決めたわけですね。これは10年というのは、そういうスパンで一応そこに書いてあると思うのですが、普通はそういう10年って決めたら、今後例えば3年間で、そしたらそれに向けて具体的などころはどうやっていくかということも含めて、もう少しみんながそれに向けてやれるような項目を掲げて、それに向けてやっていくということだと思ひています。だから、今後またそれで決定となつたら、今後もう少し具体的なその辺も入れていったらよいと思ひますね。ですから、その辺の今、出ている代替案についても現状把握からというようなことも含めて、いろいろな課題があると思ひます。その辺も含めてね、今後どういうスケジュールでというのは、また具体的に5年にするか何年にするかは、10年のままでやるか、その辺もあると思ひますけど、またやっていったらよいと思ひています。

ほんで、ただ今、現状でちょっと私個人的に心配しているのは、一応条例化が決定したと。そしたら、もういいと違うかと。そやから自治会も脱退しよう、自治会というか組織も脱退やというような流れ。それと、住民説明会でちょっと住民の方の参加少ないなというのがあって、その辺も大きな課題かなという気はしているのですね。そやから、その辺の課題もね、やっぱりこれ、今、スタートしたばかりなので、これからがいよいよ本番スタートやと私は思ひていますんで、だから、その辺の住民の方々のそういう気持ちなんかもできる限り芦屋浜は15年、20年ということですよ。南芦屋浜は30年から32年という、もう私はおらんけど、そういうことでつながっていくように、今、始まったばかりということでおね、それも大きな今、課題かと思ひてます

ので、大変だとは思いますが、よろしく申し上げます。

○市 ありがとうございます。

そうですね、この長期活動計画が本日決定とされましたので、ここに書いてある内容に沿って、またこれのもう少し細かいところを今後また詰めていけたらと思っています。

今、毎月やっていますワーキンググループなのですが、今、やっているワーキンググループの内容は、維持管理上のトラブルの課題の話し合いとか解決方法とかいうところをメインに話が進んでいるのですが、今後はね、代替案のほうについても少しずつそっちのほうも取りかかっているかと、先ほど言われたように、あっという間に10年過ぎてしまうと思いますので、計画的にやっていきたいと思っております。

以上です。

○利用者の会 ありがとうございます。

それでは、本日の議題の3番、平成30年度の電気量等のデータ、資料は2と3にしまして、尾川さんのほうから御説明をお願いします。

○市 環境施設課の尾川です。

A3の資料2ですね。パイプライン電力使用量とCO₂の排出量を見てください。

ちょっと細かい数字で見にくいのですが、これの見方としまして、まず平成28年度、この環境処理センターは関西電力と契約をしておりました。平成29年度に皆さんの御協力もありまして、電力入札を行って4月1日からエネサーブの契約になっております。平成30年度も引き続きエネサーブの契約となっております。

表ですけれども、その月ごとのパイプラインの使用電力量ですね。それに対するパイプラインの電気代、その横に吸引するブロワの運転時間。ブロワによって吸引したごみの量、ごみのトン数ですね。それを次は割ったものですね。ごみ1トン持つてくる、引っ張ってくるのにブロワは何分動かしたんやということですね。それに対しまして、今度はCO₂排出量ということで、キログラムでCO₂を何ぼ出したんやということを書いています。その備考としましてどこが、例えば浜風町とまっていたよとか、芦屋浜全域とまっていたよという注釈を入れております。

まず平成28年度ですけれども、関西電力でありましたので、パイプラインの年間の電気代としまして3,616万756円という形で、パイプラインとして3,600万円ほどかかっております。そのときのパイプラインの電力量としまして、128万4,888キロワットアワー。

ごみ1トン当たり運んでくるのにブロワは44分間動かしましたよと。CO₂の排出量としまして、ちょっと横文字になっているやつですね。63万7,304キログラムという形になっております。

平成29年度ですけれども、エネサーブに契約相手が変わりました。パイプラインの電気代としまして2,360万2,851円という形で、1,300万ほど関西電力の時代に比べて削減できております。電力量としまして124万3,390という形で、少しですけども減っております。今度は逆にごみ1トン、こっちに引っ張ってくるのにブロワとしまして45.4分かかっております。CO₂の排出量としまして、62万1,695キログラムのCO₂を排出している。

平成30年度に関しましては引き続きエネサーブで、電気代としまして2,547万8,914円、電力量としまして122万7,740円、これは電力量もちょっと下がっております。電気代はちょっと上がっているのですけれども、これは原油単価ですね。燃料調整単価というのがあるのと、あと再エネ付加金と言いまして、国が再生エネルギーを促進するために、電気を使うとそのお金を徴収しております。その値段が上がっているがありまして、電力量として下がっているけども、電気代としては少し上がっておると。ごみ1トンをこっちに持ってくるのにブロワとしまして50.5分、50分かかっております。CO₂の排出量としましては、これはちょっと仮の値、エネサーブ自身の平成30年度のCO₂の排出係数がことしの12月ぐらいにならないと確定しないということもありまして、仮の値、去年と同じ値を入れてあります。そうすると61万3,870キログラムという形で、CO₂も年度ごとに徐々にですが削減しております。

右側にその電力事業者別のCO₂の排出係数と、もう一つブロワの運転実験という形で、今までこの利用者の会と市、協議会で取り組んできました、朝の運転を7時半からやったのを5時半にするとか、赤ランプを3、4カ所で回していたのを6カ所にする、また日曜日の運転を停止する、このような実験をした履歴を書いております。そういういろんな協力というか取り組みもありまして、少しずつですが、電力量としても下がっているという形になっております。

使用電力使用量とCO₂の排出係数に関しましては以上です。

次に資料3、こちらを説明させていただきます。

○市 芦屋市の林です。

資料3といたしまして、以前、山口さんのほうにつくっていただきました入力シス

テム、こちらのほうは維持管理の方が入力しておりまして、その30年度が完成しましたので、そちらを御説明させていただきます。

形式に関しましては、昨年度の29年度と同じ形で作成しております。表面に30年度、裏面に29年度の比較できるように両面に印刷しております。

一番上のほうで、1年間の投入口ごとの赤ランプ、満杯が出た回数、集計結果を示しております。こちらに関しましては、昨年ちょっとナンバー1から4番までは、順番が違いますが、同じ投入口になっておりまして、特にこの4つの投入口で満杯が多いという結果になっております。

2番に関しましてはトラブル回数で、異常等でとまっています、全体数が昨年度は少ないんですけども、一番多かったのは陽光町の30188ですね。こちらのほうのナンバーのところ、ナンバー2から7は全ての回数は2回なので、番号を振ってしまったんですけど、それは全部2の誤りになっております。申しわけございません。

一番下の3番に関しましては投入物におけるトラブル回数ですね。昨年度多かった雑誌、チラシ、段ボールだったんですけど、今年度は段ボールと木材が多かった結果になりました。この結果は毎年積み重ねてデータとして持っていきたいと思っております。

以上です。

○利用者の会 どうもありがとうございました。御質問ある方、ございませんか。じゃあ、春木さん。

○利用者の会 春木です。

このCO₂排出量とか、これらについてはワーキングでも議論があったと思いますが、平成30年度については、7月から9月までの豪雨被害ですね。あれが大分影響しとって、ごみ1トン当たりのブロワの運転時間にしてもエネルギーの消費量にしてもね、ちょっと無駄な言うたらおかしいのですが、通気運転などでこの辺が大きく寄与やなしに悪さをしているということなので、この辺もはっきりしといてもらって、ほんで今、ああいう豪雨被害が受けるときの被害の極小化ということで、今、利用者の会と合わせてやっていますね。事前に吸引をとめて、終わってから点検して、ほんで再稼働ということで決めていますわね。そやから、その辺の結果も今後また評価するのは大事なことやと思いますのでね、その辺もよろしくお願ひしたいと思ひます。

それで1つちょっとだけあれだったのですが、エネサーブ、これはCO₂の排出係数

が4倍ぐらいに上がっているけど、これはエネサーブから何か連絡あったのかな。それともこの間言ってくれて、私がちょっと記憶してないけど、4倍ということになってね。燃料構成とかいろいろなことがあると思いますので、よろしくお願いします。

○市 エネサーブから具体的な回答といたしますか、上がった理由というのはあれですけども、先ほど春木さんがおっしゃられたみたいに燃料構成の違い。例えば、太陽光から発電しているのが多い場合、電力卸から買っているのが多い場合とかいろいろあるのですが、契約時ですね、平成28年度に関しましては、やっぱり太陽光が多かったので大分下がっていたようです。28年度の契約のときに、入札のときに関しましてはエネサーブ、ほか8社全部環境基準を満たすような状況やったのですが、今はもう、なかなか状況を満たすのが少ないような。環境基準を満たせるような会社が少ないような状況になっているそうです。やっぱり関電のほうも原発が動いてCO₂の排出係数が下がってきたというのもありますので、なかなか今の入札状況を見てみると、関電1強という形になっているみたいです。

○利用者の会 今後の契約の続きもあるし、余り強いこと言えんと思うけどね。

○市 そうですね。今年度の6月30日で契約がエネサーブと終わりますので、それ以降に関しましては、今、契約の課、環境の課を含めて、全庁内でいろいろ動き回って調整しています。ただ、パイプラインに関しましては、CO₂ももちろんですけども、安い電力ということで、できればエネサーブ、そのまま続けたいなどは思っていますけども、ちょっと今のところ、調整中です。

○利用者の会 よろしくお願ひしたいと思ひます。平成26年度のころはコスト以外にCO₂、環境も悪いやないかという指摘もありましたのでね、市の考えの中で。だから利用者の会でもホップ・ステップ・ジャンプでCO₂の改善もやりますと言うてますので、その辺も含めてよろしくお願ひします。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

パイプライン入力システムの集計結果に関して、ちょっと2点だけ。

1つは、30年度が新浜町の3112が前年度は2位だったのですね。今年度、30年度はほとんど上がって1位になって2.47、1日に約2.5回赤ランプがついているということなのですが、この理由は何だろうかということが1つと。

あとは細かい話なのですが3番目、30年度はチラシ類って書いてあるのですが、29年度は雑誌・チラシ等と書いてあるのですが、これは同じと考えていいですか。

その2点。

○市 芦屋市の林です。

この新浜町7番の3112、本当に多い結果にはなるのですが、この投入口に関しましては、一般型の低層型の投入口をマンションで使っているというのが大きな要因だと考えられます。当初パイプラインを敷設するとき、あそこは低層、マンションじゃなく戸建てが建つ予定だったはずなので低層型、一般型ですね。その投入口を設置しておりますので、満杯が多い結果になっております。

ちょっと昨年度からふえている結果がこれというのがわからないのですが、そのほかは大体月平均が52.7回から75、ふえているのは、去年から変えたというのは日曜日の運転もやりましたので、ちょっともう1年見てもいいのかなと思っております。

一番下の雑誌類と雑誌・チラシ類と、これ、一緒です。言葉の統一をさせていただきます。

○利用者の会 ありがとうございます。それ以外に御質問ございませんか。

ないようでしたら、本日の議題の4番、ごみパイプライン協議会の改善提案を山口委員長のほうからお願いいたします。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

この協議会が開いて、もう3年たったのですかね。それなので、ここでもう一つこの協議会というものを実りのあるものにしたいということで、幾つかの提案を今回考えました。

まず、資料の4-1ですが、これは先ほど林さんの説明もあったパイプラインの運転報告に関して、追加項目を欲しいということで私たちのほうで考えまして、1つの提案を、3カ所ふやしてほしいという提案をしたいと思います。

例えば、1番ですね。レベルって書いてあるのですが、①レベル。トラブルがあったときにレベル付けが必要じゃないかなと。例えば、先ほど17件ありましたよね、同じところで。ああいうのもレベルづけをするともう少しわかるかなと思ひまして、そのレベルのつけ方としては追加項目①で、Aレベル、Bレベル、Cレベルというふうに3つに分けて、Cレベルであれば2日以上回復に費やして、重大なトラブルであると判断されたら、それがCと。AとBの振り分けはなかなか難しいのですが、Aはあるかなという感じもするのですが、この場で何か提案があれば、この3つに分ければ、私たちが見るときもまずCから見たいこうということで、同じレベルで見る

と、さあ、どうなんやろうという気がしまして、まずレベル分けをしてほしい。

2番目が外部費用ですね。外部の高圧洗浄車を使ったときの費用、この辺も全く内部費用しか書いてありませんので、トータルで金額が幾らかかっているのかということが全く見えない状態なので、これも見えるようにしよう。

それから利用者起因、これは星印をつけていただいたのですが、何をもって利用者起因とするかをある程度きちっとしたほうがいいかなと。ここで書いてあるのは50%以上、これは利用者の問題であるということであれば利用者起因だというふうに判断をして、そこでつけ方は丸にするか星印にするかは別として、この3つの提案を今回させていただきたいと思っております。

○利用者の会 ありがとうございます。藪田課長、この提案に関しまして、御意見を願います。

○市 はい、藪田です。

そうですね、今まで前回の協議会でもあったのですが、この毎回報告させてもらっています資料1のパイプライン運転報告、住民起因の可能性があるとところに印をわかるようにつけてほしいという話もございましたので、今回は星印という形でつけさせていただきます。

それプラス、さらにトラブルのレベル分けとか外部費用ですかね、それにかかった外部費用ということで、情報をふやしていこうということの説明でした。データ、情報をふやす方向なのでいいことかなとは思いますが、どんどん情報が増えて、資料が細かくなってきていて、当初こんなはずやなかったのですが、毎回毎回いろいろ載せてほしい、これも載せてほしいということで細かくなってきておりますので、見やすさも考えながら、きょう御提案いただいた内容を取り込んでいければと思っております。

○利用者の会 ありがとうございます。

続きまして、資料の4-2に関しまして、委員長のほうから御説明をお願いします。

○利用者の会 資料4-2です。

どのようなことかと言いますと、この協議会で私たち利用者の会、いろんな要望とか、こういうことをしたらどうかと提案がありまして、市からもこうする、ああするという回答があるのですが、もう少しきちっとこれを記録として載せて、一個一個できたかどうかの確認をやはり最低限していかないと、会議だけで終わってしまう

ということでは意味がありませんので、少し私の提案として、これはことしの2月の議事録を全部見て、その中からこれを検討してほしい、こういうことをしてほしい、市がします、または、ああ、そうですかで終わった部分があると思うのですが、そういうものをここにリストアップしました。2月の議事録からリストアップしたのは11項目ありました。この11項目をきちっと履行するといいますか、実行する。そういうことを確実に一つ一つしないと、これからのパイプラインはここを詰めるのは非常に大切なことだと思っています。本当に汗をかくことということなのですけども。

例えば1番、運転報告書の改善をしてほしいというのが出たのですね。利用者の会としては、具体的な提案を行いたい。市のほうは、4月の協議会で検討し決定すると、こういうことをここに書いてあるのですが、こういうふうに具体的な回答がなされた場合には記入して、次の議事録ができたタイミングになるのですが、1カ月おくれるかもしれませんが、議事録ができた段階で、それを踏まえて次の協議会のいちばん最初、またはいちばん最後にこれを1つずつやったかどうかを確認する。または、いつできるのかということを確認していくということが非常に僕は大切だと思います。

ただ、これ私も昔にこれをやっていたら、実は140ぐらいたまっていたことがあって、自分の首をどんどん絞めていきます。ですから、大変なことは重々承知なのですが、やはりこれをやっていきたいということで、こういう形で議事録をピックアップして、今回もいろんな提案がありましたし、要望もありましたので、それに対してきちっと市のほうでこうする、ああするということを書いていく。もちろん利用者の会もそれはしなきゃならないことなのですけども、こういうことを1つずつ確認していったらどうでしょうかという提案です。そうすると、この協議会というものが本当に実のあるものになってのじゃないかと私自身は考えております。

○利用者の会 ありがとうございます。今の御意見、提案に関しまして藪田課長、お願いします。

○市 藪田です。

いい提案いただいております、そのとおりでございまして、協議会、本日で24回目になっているのですが、なかなか我々も日常業務とかに追われながらですので、協議会をやったら終わりというところも多々あったかと思うのですが、やった後、そこで話し合った内容というのをこのように整理して、そこでやるというのだったら

しっかり確認してやっていかなければならないし、検討するというところは検討しないといけないと思いますので、このようにリストで把握して確認していくことが大事かなとは思っています。ありがとうございます。

○利用者の会 ありがとうございます。

続きまして、協議会の添付資料の処理に関しまして山口委員長。

○利用者の会 資料はないのですが、これは住民の方からのリクエストがあったのですが、議事録を見ていると、なかなか理解できないという話があったのです。林さんが一生懸命資料をつくって、パワーポイントで説明するのですが、私たちはそれぞれの資料が手元にあって、ああ、そうなんかとかいろいろわかるのですが、議事録だけを見る方は全くわからない。何の話かわからないということで、やはり議事録ができたなら、その横にきょう配布された資料を添付してほしいと。そうすると、その資料のデータと議事録の内容を合わせてみると、非常に理解が深まるという提案が私のほうに来ましたので、公表できるかどうかはちょっと考えなきゃいけないとは思いますが、私個人としては、ここに出た資料は必ず議事録の中に添付してもらおうということで、今後はあそこに市のホームページに協議会の議事録と、その横に資料ということで、これ、PDFで1つにしてもらってされたらどうでしょうかということ

○利用者の会 今の御説明に関しまして、いかがでしょうか。藪田課長。

○市 否定する理由は全くございません。今後、添付していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○利用者の会 春木さん、どうぞ。

○利用者の会 どうも御苦労さまです。

この協議会の議事録というのはやっぱり市長、副市長、議会議員にもね、やっぱり頑張っているということは読んでほしいということ、それと一語一句間違わんような議事録であれば、なかなか読んでもらって理解するのは難しいから、もうちょっと簡潔に上の人にも議員にもわかってもらえるような表現がということいろいろお話しさせていただいたのですが、何言うのか忘れたわ。ということで、よろしくをお願いします。

○利用者の会 利用者の会の山口委員です。

春木さんにかわりまして、春木さんのおっしゃったことは議事録、大体30ページぐ

らいあるのです。あれを最初から最後まで読むのは本当に、私みたいな実際に担当している者だったら一生懸命読むのですけども、まとめが必要じゃないかと。市長の方とか議員の方とか利用者の方にいちばん最初に1ページぐらいまとめがあれば、ああ、こんなことを話しているのだなというのがわかるということで、そういうことをされたらどうかというお話が以前ありまして、私のほうもそういうものをつくって、まとめみたいなものをつくって、藪田さんのほうに前交渉ということでいろいろやりとりしたのですが、やはりそれをつくるとなると価値観が物すごく入ってくるのです。何が大切かってみんな違うのですよ、立場によって。それはなかなかそれを1つにするためには、またその話し合いをしなければいかんということで、この協議会で今、先ほど4-2という提案で具体的に話したことをチェックしていこうという形をとろうという、それも1つ理由としては入っていますので、まずはこういうことを、4-2をきちっとやっていこうかなと今、考えております。

○利用者の会 藪田課長、どうぞ。

○市 はい、藪田です。

今、山口さんがおっしゃったことはもともと、私も以前、必要やと思ってつくったことはあったのですが、私がつくりまして、どうしても市の思いでこの会議録をまとめて整理してしまうので、いかななものかなという場面も出てくる箇所もあったのです。それで、やはり会議録そのまま皆さんのしゃべり口調そのまま出したほうがストレートに思いが伝わるのかなと思って、今、30ページ、長い議事録になっていますけど、ほぼ加工することなく、誤字脱字等は加工させてもらっていますけど、そのまま出させてもらって、発言者の思いを変に加工せんほうがいいかなと思って今、やっているのですが、さすがに24回もなっていて、全部議事録を読むのは大変ですので、しかし、偏った思いでリスト化するのはよくないと思うので、お互いよく調整しながらリストをつくって確認していきたいと思っています。

以上です。

○利用者の会 春木さん。

○利用者の会 そういうことだと思います。

ただ一方では、例えば3カ月も豪雨被害で長いこととめてしまったと。それに対する対策、何するのやというのは、ああいうのは大きな課題ですね。そのときに30ページにわたる議論を一語一句間違わんように書いて、30ページ読んでもらえるかなとい

うのもね、1つ大きなところなのです。そしたら、あの3カ月もかかった、ああい
うロスですね、まあ言うたら。これに対して協議会でどういう対策をとるのやと。あ
れは今後そういうことがある前には事前にとめて、雨がやんでから、点検してからや
ろうやないかと。ごみが入った状態で引っ張って、輸送管にいっぱいたまっとるよう
な状況で復旧作業するよりましやないかということで、そういうような項目について
は、簡潔に協議会のところでね、簡潔にこういうことで決まって今後やっていきます
ということを表面に打ち出してほしいなという思いでね。それやったら市長にも副市
長にも議員にも、協議会ではそういう大きな被害について対策を考えてやってくれる
というような、簡潔にわかるからという思いで出した次第です。これについては、別
に市の考えでまとめたらとか、利用者の会でまとめたらとかいうのは何もないですね。
ただ決定したことでね。そういう思いです。それについては、特にしいて言いません。

○利用者の会 ありがとうございます。

それでは、議題の5番、住民説明会の報告に関しまして、資料5を山口委員長、御
説明をお願いします。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

実は皆さん御存じの、いつでもごみが捨てられるパイプラインの使い方とセットに、
3点セットに今回したのです。これが第1番目。第2番目が住民説明会を同時に並行
してやろうと、この説明を含めて。第3番目にアンケートという3本構えでやったの
ですね。

まず住民説明会は資料5に載っていますように、条例化が決まった後に、もうこれ
で終わりやと、ああ、安心やといたら非常に困るわけですね。これからが本番だど
いうことで、何とかそれを住民の皆さんに口頭で伝えたいという思いで開きました。
それと同時に、利用者が起因するパイプラインの詰まりということをなくしたい。な
ぜそうなるかも含めて。そういうことを口頭で住民の皆さんに説明会を、ここに書い
ていますように7回実施しました。参加者は非常に少なくて残念もありますし、一方
において、もう住民の方が安心して、これで決まったので20年、32年もつのだとい
うことかなという気もします。

私のコメントとしてはいちばん最後に書いていますように、条例期間までもたせるこ
とは大切なことだと、これは実際に住民の方から声が出ました。ああ、条例化が決ま
ったのでこれでいいじゃなくて、実は非常に今、大変だということが理解できたとお

っしゃいましたので、これはそのとおりですよということで私もそうしました。それから、この住民の意見というのはまとめて市のほうにも提案したいなど考えています。私たちもやっぱり参加に関しては非常に期間が短くて、準備不足なところも実際ありましたので、今後はその辺も考えていきたいというふうに思いました。

参加者からの主な意見ですけども、利用者の会の高齢化の問題もあるので、代替案のイメージを早く検討したらどうだろうかということが出ました。一方において、15年先の代替案を考えることは、今後いろんな変化があるので現段階では難しいのではないだろうかという意見も出ました。

それから業務委託者の高齢化対策、他社の対応のために運転マニュアルも必要ではないか。これは実際に私の住んでいるマンションに会社で上水道をつくっている方がおられまして、その方がマニュアルさえきちっと整っとれば、うちでもやるかもしれんとかいう話がすこし出まして、ただ、補修はちょっとできんかなど。運営はできるというような話がありましたので、その辺の話ですね。

それから新しく入居された方に関しては、やはりパイプラインの使用方法を知らない方が非常に多い。これはアンケートでも出てきますので、この方に対する何か対策が必要ではないか。

それから現場の車で捨てに来る人、やっぱり何人か見かけておられます。ただ、それを現場で注意するのはなかなか難しいと。これは男女も含めておっしゃっていたので、この辺は何かいい方法はないだろうか。

それから、芦屋市はパイプラインをずっと20年運転することを守れるか心配だという方もおられました。

それから、ごみを詰まらせることや誤投入に関しては、厳しくお金の請求をしてもいいのじゃないかと。

それから、パイプライン施設は便利なので、利用者みずから詰まらせて寿命を短くすることはやめてほしいと。

それから、投入口に捨てる状態。これはアンケートにも出ているのですが、プラスチックごみを減らせと言われるのに、袋に入れなさいという話が矛盾するのではないかという話がありました。

それから次は、これは議員の方から提案がありまして、設計段階から今後、新しく芦屋にマンションをつくるにはダストドラムを設置するような条例化が必要じ

やないかという意見が出ました。

それから、ごみを捨てる市のルールはあるが、高齢化が進んでいるので捨てにくいものがある。これはどういうことかといいますと、もうおじいちゃん、おばあちゃんになって、例えばたんす1つ300円のシールを何枚か張って下に持っていくというのはできないと。何故かと言うと、エレベーターがないのですね。階段を持って歩かなきゃいけないということで、その辺で何か自治会、管理組合でも一緒になってどうしたらいいのかという仕組みをつくる必要があるということで、私もこれはシルバー人材センターとコンタクトをとって、いろいろ今、調べております。

それから、やっぱり罰則ですね、これは難しいと思いますけど、その辺の問題。

それから、代替案は住居の形態にマッチしたものをやっていくと考えていいのだろうかという確認がありました。

それから、自分の家庭ごみを何か少なくする方法も一緒に考えていきたい。

それから、協議会や利用者の会の情報を住民の皆さんにどうやって伝えていくのかということを考えなきゃならないということで、実はアンケートの中で、後で説明しますが、皆さん、ホームページ見えていますかという質問をしたのですが、市ホームページも利用者の会のホームページもほとんど75%の方が見てないと、知らないと。うちにはパソコンがないという方が住まわれているので、これは非常に多角的に情報を伝えないと、ホームページだけでぽんっと出していいのかという問題提起もありました。

それから、若い人への啓蒙が非常に大切ということで、私たちも小学校のほうに、小学校は2つありますけど、パイプラインがピンチだということをパワーポイントでつくって送りまして、教頭先生には、先生にはもう出されたのですかね。

○市 はい。

○利用者の会 ということで、小学校の職員にも何とか学んでほしいということで、そういうのもつくって今、渡しております。

こういふことで、一言で言いますと非常に参加者が少なくて残念な面はあったのですが、出てきた人に関しては現状、これからが本当の問題が始まる、汗をかかなきゃいけないということの理解は出てきた人にはしていただいたかなと思っております。

以上です。

○利用者の会 ありがとうございます。芦屋市のほうから何か御質問はございますか。

○市 質問というわけじゃないのですけども、質問になるかな。この参加者からの主な意見、主なということは、ほかにもまだたくさん意見が出たということですかね。

○利用者の会 そうです。

○市 そのあたりも含めて、またゆっくりと見させてもらうことって可能ですかね。というのは、やっぱり利用者の方の御意見というのは非常に大事と思っていますので、ほかの御意見についても、どんなの出たのかなというのもちよっと気になっていますので、また、もしよければ教えていただけたらなと思っています。

○利用者の会 わかりました。主な意見って書いていますけど、ICレコーダーからとった意見はほぼここに、説明会はこういう形です。ただ、あとアンケートのほうも同じような意見が山ほどありますので、これはまとめて渡させていただきます。

○利用者の会 ありがとうございます。

続きまして、本日の議題6番、パイプライン利用者へのアンケート中間報告、資料6をごらんください。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

アンケートをとっておまして、恐らく初めてじゃないかと思うのですけども、ここに書いていますように配布枚数は6,713枚、これを、この中にアンケートを入れましたので、これだけの数を私たちのほうで、それぞれ組織を通じてはありますし、もう一つは私たちで、組織がないところは郵便ポストに入れて行ってアンケートをとりまして、ここに回収枚数というのが、きのう一生懸命、おとといか、集計したら、最新のものが1,325枚返ってきまして、全て入力を終わりました。回収率20%ということで、大体予測したとおりであります。ということで、こういうアンケートをとりました。

なぜこういうアンケートをとったかというのと、私たちの利用者の会だけではなくて、やっぱり直接住民の皆さんの意見をこの協議会でも、強いては、ごみの基本的な市の考え方にしろ、方策にできるだけ住民の直接の声を生かしたいというのが1つあります。もう一つは、これを書くことによって、ごみに関する意識の向上、啓蒙活動を図ろうと。これを書く、いろいろ考えなきゃいけないようになっていきますので、そういうことをやって、この2点でこういうアンケートを今回初めてつくりました。以前にも住民の意見を聞かんかいとか、かなり叱られたこともありますので、できるだけこういうことを利用しながら皆さんの意見を聞いていこうと思っています。対象はこの芦屋浜、南芦屋浜に住んでいる方です。

調査内容というのを書いていますけども、まず属性分析、最初にどんな人がここに住んでいるのやということを聞かないと話になりませんので、どんな人が住んでいるのか。年代構成、同居家族、住宅形態、何年ここに住んでいるのかということを最初に聞いて、ここに住んでいる人の特徴を把握しようと。ただ、これは余り公表すると、ここに住んでいる方が非常に、住居人数が1人で70以上が非常に多いというのがわかりますので、これはオープンにすることはなかなか難しいこともありますので、そこは考慮します。

それから2番目には、パイプラインへのごみの捨て方、どんな人が捨てているのやと。それは決まった人なのか、例えばお母さんなのか、介護の人が捨てているのか、その辺のどんな人が捨てているか。

それから、どの時間帯に捨てているのか。これは何で聞いたかということ、例えば、午前中というふうに多くあれば、パイプラインを例えば早く閉めるとか、いろいろ対策が打てるかなと思ったのですが、満遍なく捨てている方がいましたので、この時間というものはなかなかなかった。ただ、多かったのは通勤時間でした。通勤時間に捨てる方が予想したより多くの方が、たしか十何%だったと思います。この通勤時間の人は、上に持って帰ることは不可能と、ほとんどの方が書いてありました。バスの時間が迫っているので、わざわざ赤ランプのときにまた家まで帰るかということ帰らないと、そういうことを書いてありました。それもよくわかる気もします。もうちょっと早く出ればいいと思いますけど、なかなかそれは難しいことだと思います。

それから満足度、パイプラインに関する満足度、満足していますかということ、95%の方が満足なのです。物すごく満足している。だけど、問題点はありますかって聞いたら出てきまして、いろいろいっぱい問題が出てきました。特に私が気になったのは、日曜日に運転してほしいと、物すごく多かったです。

それから、老朽化のことを知っているかということ聞いたのですが、ほとんどの方が知っているとおっしゃっているのですが、中身は知らないのではないかなという気はしましたが、これは非常に意外でした。

あとはホームページが情報提供に役に立っているかということで、25%を役立っているとするのか、ちょっと少ないとするのか、いろいろ分かれる意見があるでしょうけど、ほかの方法も考えなきゃならないと思いました。

と同時にせっかくアンケートしたから、処分に困っているごみは何ですかというこ

とを聞きました。物すごくいっぱいあります。当然スプレー缶の問題とか、大型家具が運べないとか、いろいろあります。それも全部網羅しました。

それから、分別への認知度はどうなのかということは気になっていましたので、分別していますかということで、これは非常に高かったです。まだ結果は出てないのですが、若い人ほど興味がない。年とった人は非常に興味があるというふうに書いてありました。

それから減量化で何をしていますかということで、あなたが実際に減量化に対してどんな行動をとっていますかというのを聞きました。

それから集団回収の利用度、これは非常に高かったです、集団回収の利用度は。ただ、新しく入ってきた方が自分のマンションなり地域で集団回収をしているかどうか知らない。全くその人、情報がないのですよ、そこに住んでいる。だからそういう、どうしていいかわからないという方がおられたので、これは新しく入られた方の情報提供として、集団回収をやっているよというのを何かの形で知らせる必要があるかなと思いました。

それから最後の5番目ですけれども、芦屋市がごみに対する施策というのを具体的に30項目ぐらいしていますよね。その30項目に対して、あなたはそれを知っていますかという質問をしています。ただ、これは全部のマンションじゃなくて、偶然にもこういうことをやりたいということで、案の状態アンケートを、利用者の会でその理事長とかに配ったのですが、もうそこが勝手に判断されまして、自分たちで全部コピーして私に持ってこられたのです、2月に。その中にこれが入ってしまして、最新のものには入ってないのですが、入っているのは117ぐらいありますので、そのデータが貴重なデータで減量化施策、芦屋市の施策に対して認知している、してない、よくわかっていると、こういうものを調べました。

ということで、ここに、これは途中段階ですけど、ホームページの認知ということで、利用者の会も市もほとんど同じような状態で、やっぱりアンケートを出した方はお年寄りが多いのです。非常に恐らくサラリーマンの方はなかなか少なかったもので、女性の方が73%ぐらい占めていましたので、自宅にパソコンを置いて、じゃんじゃん見ているという方はなかなかおられないかなということで、余り知らない、全く知らないという方はそういう方なのかなということでした。

ここにパソコンでデータを。これ、1個だけある地域のデータなのですが、若葉

の6のところですけど、こういうふうにアンケートがありまして、クリックすると、ここに出てくると。あれを選択すると自動的に全部入り込むようになっている。関数を使って、下のほうに自動的に集計をするということがありますので、集計して、今、これを一個一個、全部グラフにとってやっている状況で、まず全体を分析した後に、それぞれを今度は組織、自治会、管理組合別もあるのですが、住宅形態別も全部とっていますので、住宅形態ぐらいまでは落とした分析をしようかなと今思っています。

市のほうでももし、直接は使えないですけど、考え方はこれ、非常に集計するときには便利だと私自身、自負しておりますので、やはりこのメンバーで入れたのですね、それぞれ分けて。ただ、多いところは100以上ありますので、これは100になると非常に大変な入力になりますので、その辺、市のほうももしアンケートされたときに集計業務が簡素化するのだったら、これでできますので、利用されてもいいかと思えます。

以上でございます。

○利用者の会 ありがとうございます。何か御意見とか御感想ございますか。

○市 藪田です。

感想ですけども、先ほどの住民説明会もそうですし、このアンケートも、本当に大変な御苦勞をされたのではないかなと思います。我々にかわってやっていただいているところもあろうかとは思いますが、ありがとうございます。せっかくこれ、汗かいてやっていただいておりますし、非常にいいデータやと思いますので、まだ集計途中やという話でしたけども、集計できましたら、またこの協議会とかワーキンググループとか、皆さんで共有して、今後のパイプラインのためにいろいろ考えていきたいと思えます。ありがとうございます。

○利用者の会 どうもありがとうございます。

それでは本日の議題の7、その他、何かございますか。その他でございますけれども、何かございますか。

ないようでしたら、8番目の今後の次回の協議会のスケジュールですけれども、先ですけれども6月15日土曜日、皆さん、御都合はよろしいでしょうか。6月でございます。まだ先でございますけど、6月15日の10時から、場所はこちらのほうで。部長もよろしいでしょうか。

よろしければ、そしたら次回は6月15日土曜日、時間は10時から、場所はこちらのほうでということで開催させていただきたいと思えます。

それでは本日、第24回ゴミパイプライン協議会、これにて終了させていただきたいと思いを。皆さん、どうもありがとうございました。

以上